

# 平成29年度の国庫負担基準

別紙1

## 平成27年度国庫負担基準

### 居宅介護対象者

区分1	2,790単位
区分2	3,610単位
区分3	5,310単位
区分4	9,980単位
区分5	1,5980単位
区分6	22,990単位
障害児	8,970単位

※別途通院等介助ありを設ける

### 重度訪問介護対象者

区分3※	20,700単位
区分4	25,920単位
区分5	32,500単位
区分6	46,330単位

※区分3は経過規定

介護保険対象者	14,140単位
---------	----------

### 同行援護対象者

区分に関わらず	12,080単位
---------	----------

### 行動援護対象者

区分3	14,280単位
区分4	19,240単位
区分5	25,580単位
区分6	33,240単位
障害児	18,160単位

介護保険対象者	8,540単位
---------	---------

### 重度障害者等 包括支援対象者

区分6	84,070単位
-----	----------

介護保険対象者	33,730単位
---------	----------

重度障害者等包括支援対象者で、  
居宅介護、行動援護又は重度訪問  
介護を利用する者

区分6	66,730単位
-----	----------

介護保険対象者	33,370単位
---------	----------

## 平成29年度国庫負担基準

### 居宅介護利用者

	通院等介助なし
区分1	2,900単位
区分2	3,750単位
区分3	5,520単位
区分4	10,370単位
区分5	16,600単位
区分6	23,890単位
障害児	9,320単位

※ 別途通院等介助ありを設ける

### 重度訪問介護利用者

区分3※	21,220単位
区分4	26,570単位
区分5	33,310単位
区分6	47,490単位

※区分3は経過規定

介護保険対象者	14,490単位
---------	----------

### 同行援護利用者

区分に関わらず	12,550単位
---------	----------

### 行動援護利用者

区分3	14,750単位
区分4	19,870単位
区分5	26,420単位
区分6	34,340単位
障害児	18,760単位

介護保険対象者	8,820単位
---------	---------

### 重度障害者等 包括支援利用者

区分6	84,320単位
-----	----------

介護保険対象者	33,830単位
---------	----------

重度障害者等包括支援対象者であって  
重度障害者等包括支援を利用しておらず、  
居宅介護、行動援護又は重度訪問介護  
を利用する者

区分6	69,070単位
-----	----------

介護保険対象者	34,540単位
---------	----------

※ 訪問系サービス全体の利用者数に占める重度訪問介護及び重度障害者等包括支援利用者数の割合が5%以上の市町村については、市町村全体の国庫負担基準総額の5%嵩上げを行う。

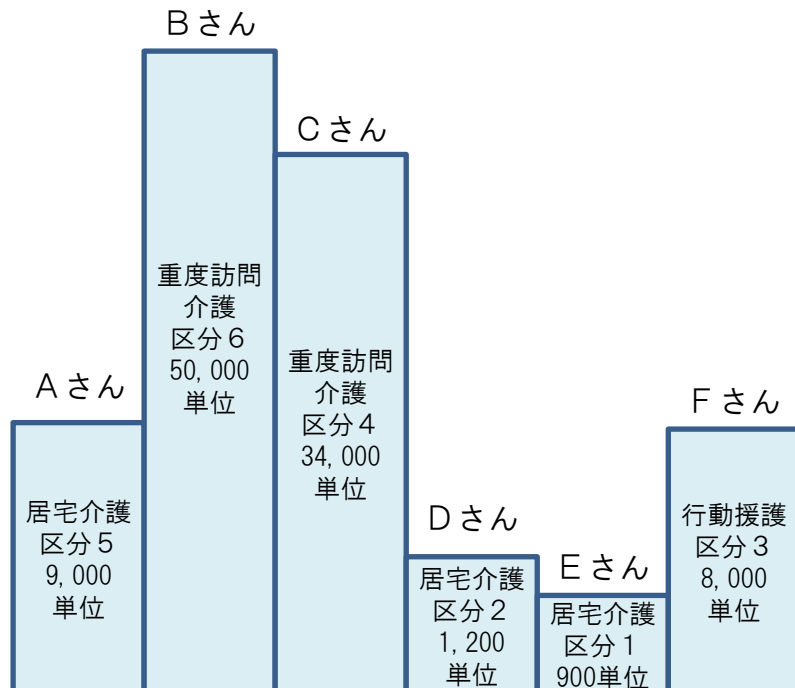
# 国庫負担基準の考え方

- 国庫負担基準は、利用者毎のサービスの上限ではなく、市町村に対する国庫負担(精算基準)の上限であり、サービスの利用が少ない方(サービスの上限が国庫負担基準を下回る方)からサービスの利用が多い方(サービスの上限が国庫負担基準を上回る方)に対し国庫負担基準を回すことが可能な柔軟な仕組みとなっている。

## 【参考:A市の訪問系サービスの国庫負担】

Aさんは「国庫負担基準 > 支給量」、Bさんは「国庫負担基準 < 支給量」など、個人ベースではばらつきがあるが、A市全体では「国庫負担基準108,910単位 > 支給量103,100単位」であり、国庫負担基準の枠内となっている。

サービス支給量 計103,100単位



国庫負担基準 計108,910単位

